

## 安全上のご注意

ここに示した注意事項は製品を安全にご使用いただき、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ずお守りください。

### ▼電池について

電池は使い方を間違えると液漏しや破裂の恐れがあり、機械の故障やケガなどの原因となりますので、下記のことを必ず守ってください。

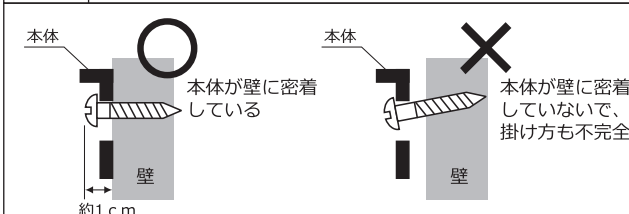
- 警告** 電池から漏れた液が眼に入った場合は、失明する恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い医師の治療を受けてください。皮膚や衣服に付着した場合は、きれいな水で洗い流してください。
- 注意** ・プラス (+)、マイナス (-) の方向を正しく入れてください。  
・長時間使用しないときは電池をはずしてください。  
電池を入れたままにしておく、漏液して製品内部を痛める原因になる恐れがあります。
- 禁止** 充電や分解など、ショートする恐れのあることはしないでください。液漏し、発熱、破裂の原因になります。また、加熱したり火の中へ入れないでください。

### ▼時計の掛け金具（木ネジ）について

時計を掛ける壁の材質・構造をご確認のうえ、この時計の重さに耐えられる掛け金具を選んでください。特に、コンクリート・石膏ボードなどの壁や柱に掛ける場合は付属の掛け金具を使用せず、市販の専用掛け金具を使用してください。

### ▼時計の掛け方

時計を掛けるときは垂直な壁に取り付け、上下左右に軽く動かし、確実に掛っているか確認してください。掛け方が不十分ですと時計が落下する恐れがあり危険です。



### ▼誤飲による事故防止について

付属部品（掛け金具・電池など）は幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師の治療を受けてください。

### ▼使用場所について

下記のようなところでは使用しないでください。  
・温度が +40℃ 以上になるところ。例えば、直射日光の当たるところや、暖房器具・火気に近いところ。  
・湿度が 0% 以下になるところ。  
・浴室・洗面所などの直接水がかかる場所や、湿気の多いところ。  
・屋外やほこりが多く発生する場所。  
・強い磁気のある場所や、激しい振動のある場所。  
・多くの油を使用するところ。  
・倒れたり、落ちたりしそうな不安定なところ。

### ▼その他

分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

Radio Controlled Wall Clock

## 温度・湿度計・カレンダー付き 電波掛時計

YW9090/YW9100/YW9095

### 取扱説明書（保証書付）

このたびは、当製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いいただきますようお願い申し上げます。読み終わったら後もお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

## 保証書

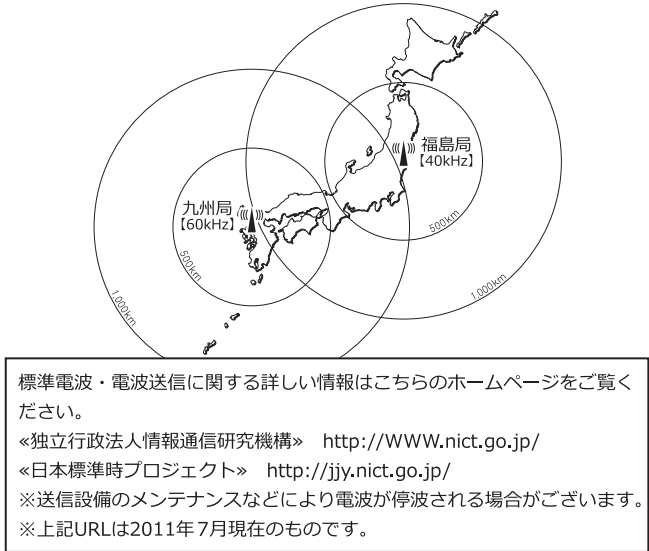
通常のお取扱いにおいて、万一保証期間内に自然故障が起きた場合は、この保証書を販売店にご持参いただければ、無料修理および、調整いたします。なお、この保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

お買い上げ年月日	年	月	日
保証期間	お買い上げ日より1年間		
お客様ご氏名	ご住所		
TEL	( )		
販売店印			

- 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は日本国内のみ有効です。  
This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報は、製品の修理・調整に関するご連絡のみに利用させていただきます。

## 電波時計について

電波時計とは、正確な「日本標準時」をのせた標準電波を受信して正確な時刻を表示する時計です。標準電波は独立行政法人情報通信研究機構が運用しており、現在は福島県の「おおかたどや山（40kHz）」と、福岡県と佐賀県の県境の「はがね山（60kHz）」の2か所から送信されています。これらの電波は条件の良い時は送信所から1,000～1,200 km 離れた距離でも受信可能とされ、ほぼ日本全国をカバーしています。ただし、受信範囲内であっても天候・地形・建物・時間帯・置き場所・時計の向きなどの影響で受信できない場合がございます。その場合はクオーツ時計として製品仕様に記載された精度で作動します。



標準電波・電波送信に関する詳しい情報はこちらのホームページをご覧ください。  
「独立行政法人情報通信研究機構」 <http://WWW.nict.go.jp/>  
「日本標準時プロジェクト」 <http://jty.nict.go.jp/>  
※送信設備のメンテナンスなどにより電波が停波される場合がございます。  
※上記URLは2011年7月現在のものです。

## アフターサービス

- 外装部品やその他の付属品についての修理には、類似の代替品を使用させていただくこともありますのでご了承ください。
- 無料保証期間が過ぎてもお客様のご希望により有料で修理させていただきます。
- 下記のような場合には無料保証期間でも有料修理となりますのでご注意ください。
  - 1 保証書の提示がない場合。
  - 2 保証書に日付、販売店名の記載がない場合や、字句を書き換えられた場合。
  - 3 誤ったご使用によって生じた故障や損傷。
  - 4 天災、火災または異常な塩分、酸、蒸気、有毒ガスなどの影響による故障や損傷。
  - 5 お客様による修理、改造が原因で故障した場合。

この説明書の内容は、予告なしに変更になることがあります。印刷による制限のため、この説明書中の図が実際の製品と異なる場合があります。この説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

輸入発売元 ヨシクニ  
株式会社 芳国産業  
〒111-0043 東京都台東区駒形2-4-11 ヨシクニ駒形ビル10F

製品に関するお問い合わせ

TEL 03-3843-7811

平日（土・日・祝日を除く）：午前10時～午後5時

## ご使用場所

下記のような場所では電波を受信できない場合があります。

- マンションやビルなどの地下
- 高圧線、テレビ塔や電車の高架橋の近く
- 電化製品やOA機器の近く
- 自動車、電車、飛行機などの乗り物の中
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 工事現場、空港、交通量の多い所など電波障害の起きる場所。
- 金属製の家具の上など電波を遮断する場所。
- 周囲が山やビルなどに囲まれ、電波の入りが悪い場所。

## 製品仕様

時計精度	●標準電波の受信に成功した直後 表示精度：±1秒 ●標準電波を受信していないとき 平均月差：±30秒（常温中）
温度計精度	±1.5℃（+20℃～+30℃の範囲において） ※上記の範囲外は±2℃
湿度計精度	±5%RH（25℃、60%RHにおいて）
温度計表示範囲	-10℃～50℃（-10℃未満、1.1℃50℃超、HHを表示）
湿度計表示範囲	20%～99% ※20%未満の場合、表示は20%となります。
使用温度範囲	0℃～+40℃
使用乾電池	1.5V 単3アルカリ乾電池3本
電池寿命	約1年間 ※付属の乾電池は工場出荷時に入れてあります、モニター用電池ですので、製品仕様の表示より電池寿命が短い場合があります。
電波受信機能	●自動受信：1日に7回 1.3.5.9.13.17.21時のそれぞれ16分 ●手動受信

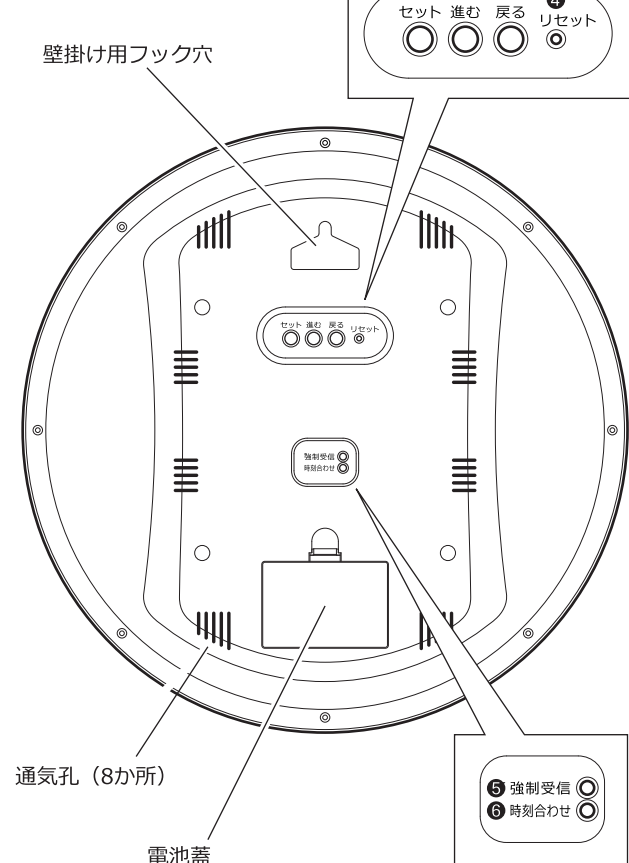
※表示温度範囲は使用温度範囲をあらわすものではありません。  
※上記の仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。

## ご使用方法

【本体表面（時刻表示面）】

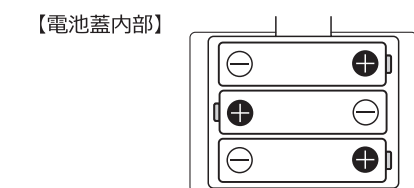


【本体裏面（操作面）】



## 1 電池を入れる

単3乾電池3本を電池ボックスに記載されている+（プラス）／-（マイナス）の表示に合わせて正しくセットします。絶縁シートが付いている場合は取り外してください。電池セットが完了したら、必ず「リセットスイッチ」を先の細いピンのようなものを使って押してください。



## 2 電波受信を始める

電池をセットすると、ほどなく時・分・秒針が高速で動き始め、「12時」の位置で停止し、自動的に受信を開始します。この時、カレンダーの液晶は「1月1日/日」を表示し、受信マークが点滅します。

※受信中は本機を動かさず、窓際などできるだけ受信しやすい所に置いてください。  
※受信に要する時間は最短4分、最長16分程度です。  
※電波受信中は「時刻合わせ」などの操作はできません。

## 3 受信結果

【受信成功】  
電波の受信に成功すると時・分・秒針が高速で動きだし、自動的に正確な時刻と日付（月・日・曜日）を示し、受信マークが点滅から点灯に変わります。

【受信失敗】  
電波の受信に失敗すると、受信を開始してから約16分後に時計は「12時」の位置から通常運針を開始します。（この時の日付は1月1日/日 のままで、受信マークは消灯します）。受信に失敗した後は、以降1時間おきに最多15回まで受信動作を繰り返します。

時計をすぐにお使いになるときは、下記のいずれかの方法をお試しください。

- 右記の「電波を受信させるコツ」を確認し、受信しやすいところに場所を変えて再度受信させる。
- 後記、「手動で任意の時刻・日付に合わせる」を参照し、時刻設定を行う。

## 4 自動受信について

初期の受信に成功しているときは、1日7回あらかじめプログラムされている時刻になると、自動的に受信を行い時刻修正を行います。自動受信中は秒針が30秒の位置で5～15秒間停止し、この動作を最多6回まで繰り返します。

初期の受信に失敗しているとき、または手動で時刻合わせを行ったときは、午前1時16分に全ての針が停止して受信を行います。※電波受信後、次の電波受信を行うまでの間は、内蔵されているクオーツの精度で時計は動きます。

## 5 手動で受信させる

本体裏面中央部の「強制受信スイッチ」を約4秒間押し続けると、任意に受信をさせることができます。このとき全ての針が停止し、受信を開始します。電波の受信に成功すると時・分・秒針が高速で動きだし、一旦全ての針が12時の位置で停止した後、1分以内に再び動き始め、自動的に正確な時刻を示します。

※この操作で受信に失敗したときは、受信前に記憶しているもとの時刻に戻ります。

## 6 手動で任意の時刻・日付に合わせる

【時計の合わせ方】

本体裏面中央部の「時刻合わせスイッチ」を約4秒押し続けると、「時刻合わせモード」になり、ボタンを押すごとに時刻が1分進みます。押し続けると早送りして時刻が進みます。

※時刻合わせの途中で約8～9秒間操作を中断すると「時刻合わせモード」は解除され、秒針が通常運針を始めます。  
※手動で時刻を合わせる場合、秒針を合わせることはできません。  
※手動で時刻を合わせても毎日午前1時16分になると受信を開始し、受信に成功すると時刻の修正を行います。

【日付の合わせ方】

【設定例：2010年11月25日】

- ①「月」を合わせる  
「リセットスイッチ」を約3秒間押しします。月日表示の「月」の部分が点滅します。「進むスイッチ」もしくは「戻るスイッチ」を押して「月」を合わせます。  
↓「リセットスイッチ」を押す
- ②「日」を合わせる  
月日表示の「日」の部分が点滅します。「進むスイッチ」もしくは「戻るスイッチ」を押して「日」を合わせます。  
↓「リセットスイッチ」を押す
- ③西暦年数を合わせる  
月日表示から西暦年表示に変わり点滅します。「進むスイッチ」もしくは「戻るスイッチ」を押して年数を合わせます。  
↓「リセットスイッチ」を押す
- ④セット終了です。  
画面の点滅が消え、通常モードに戻ったことを確認してください。

## 温度計・湿度計について

電池をセットすると、本体背面の通気孔から取り込まれた空気の温度と湿度を時計内部のセンサーが感知し、測定結果を液晶画面に表示します。本機における各機能の精度については、製品仕様欄をご覧ください。

当製品は業務用ではありません。厳密な温度・湿度管理を行う用途には適しません。

## 電波を受信させるコツ

電波発信局の方角に近い窓際に置いて受信してください。

受信しない場合、場所を変えて受信するか、電池を一旦取り外し、夜間に受信しやすい窓際に電池を再度セットして朝まで様子を見て下さい。夜間は昼間と比較して受信しやすい傾向があります。

- ご使用中に時刻が合わなくなってきた場合

時計が電波を受信していない可能性があります。電池の消耗が考えられる場合は、新品の電池に交換し、電波を受信しやすい窓際等でのご使用をお勧めします。

写真の計時は説明用であり、実際の商品とは異なります。

## 電池交換について

電池を交換する際は新品の単3アルカリ電池をご使用ください。電池が消耗してきますと電波の受信性能が低下し時刻がくるったり、液晶の表示が見えづらくなるなど性能低下の原因となります。

電池交換の際は必ず3本とも新品の乾電池をご使用ください。古い電池と新しい電池を混ぜて使用されますと、電池の液漏れや故障の原因となることがあります。

## お手入れのしかた

ケースなどを拭くときは、シンナー・ベンジン・スプレー式クリナーなどは使用しないでください。汚れがひどい時は、やわらかい布に石鹸水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、よく絞ってから拭き、乾燥した後に再度やわらかい乾いた布で拭いてください。また、殺虫剤やヘアースプレーなどもかからないようにしてください。